

A R 1 6 0 1

RS-232C無線通信ユニット

[2.4GHzスペクトラム拡散無線データ通信ユニット]

Evaluation . exe

操作マニュアル

Ver.1.00

アドー・ジャパン株式会社

履歴

2006年 5月22日 初版作成

商標

本書に記載されている社名、製品名等はそれぞれ各社の各国での登録商標または商標です。

発行者: アドー・ジャパン株式会社 東京都中央区日本橋小舟町8 - 6 Printed in Japan

注意

記載内容の一部または、全部を無断で複製、転写、転載、改変することは法律で禁じられています。

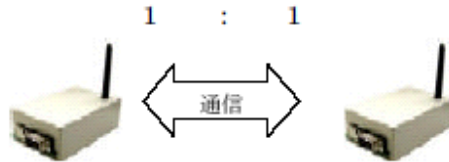
添付のソフトウェアはバックアップ用以外のコピーを禁じます。

記載内容、製品の仕様、意匠等について予告なしに変更する場合があります。

本書は、改良および部品の製造中止等により変更される事があります。また、カスタム対応した製品には対応しないものです。

1 概要

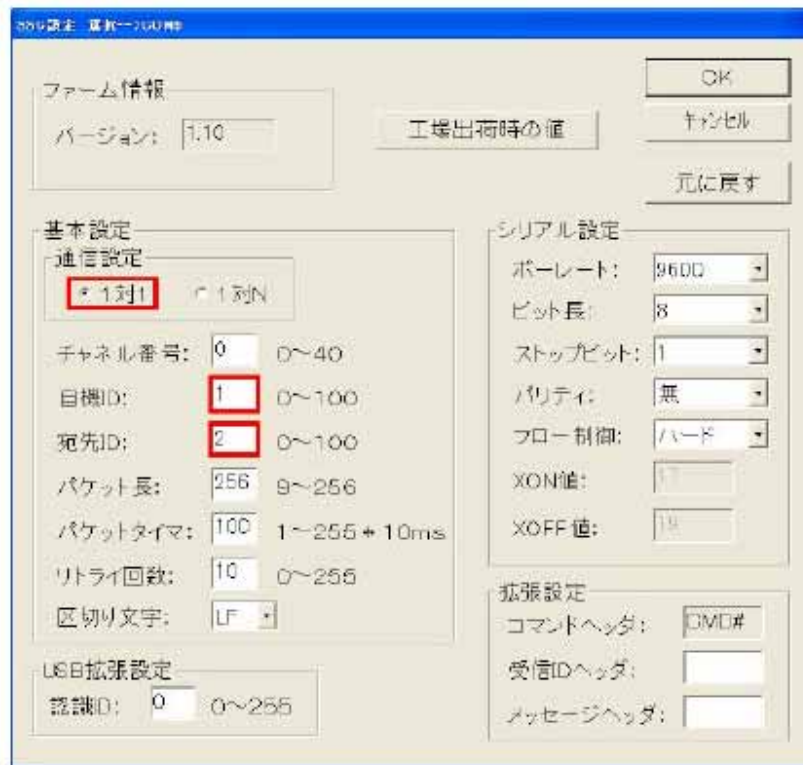
Evaluation.exe はRS-232C 対応 2.4GHz スペクトラム拡散無線データ通信ユニット ADDO R1601 (以降ADDO R1601)とPCの通信環境を2セット使用し、対向テストを行うためのソフトウェアです。



2 準備

- 1)未だPCとADDO R1601の接続が行われていない場合には、先に「ADDO R1601 取扱説明書」または「ADDO R1601 簡易マニュアル」に従い、接続を行ってください。
- 2)接続が行われましたら、添付のインストールディスク(CD-ROM)の「application」フォルダ内にある「Evaluation.exe」を各PCのハードディスク内の任意のフォルダにコピーしてお使いください。
- 3) 添付のインストールディスク(CD-ROM)内にある「Setup.exe」を使用し、対向テストを行うための設定を行います。
(「Setup.exe」の使用方法は「ADDO R1601 Setup.exe 操作マニュアル」を参照してください。)
次ページの各設定内容例を参考に、
「通信設定」は1台目2台目とも「1 対 1」に、
1 台目「自機ID」と2 台目の「宛先ID」を同じID に、
2 台目の「自機ID」と1 台目の「宛先ID」を同じID に
設定してください。

1 台目のADDOR1601 設定内容例



2 台目のADDOR1601 設定内容例



3 操作手順

3.1 共通操作手順

この章の操作は対向テストを行う前に各PC に対して行います。

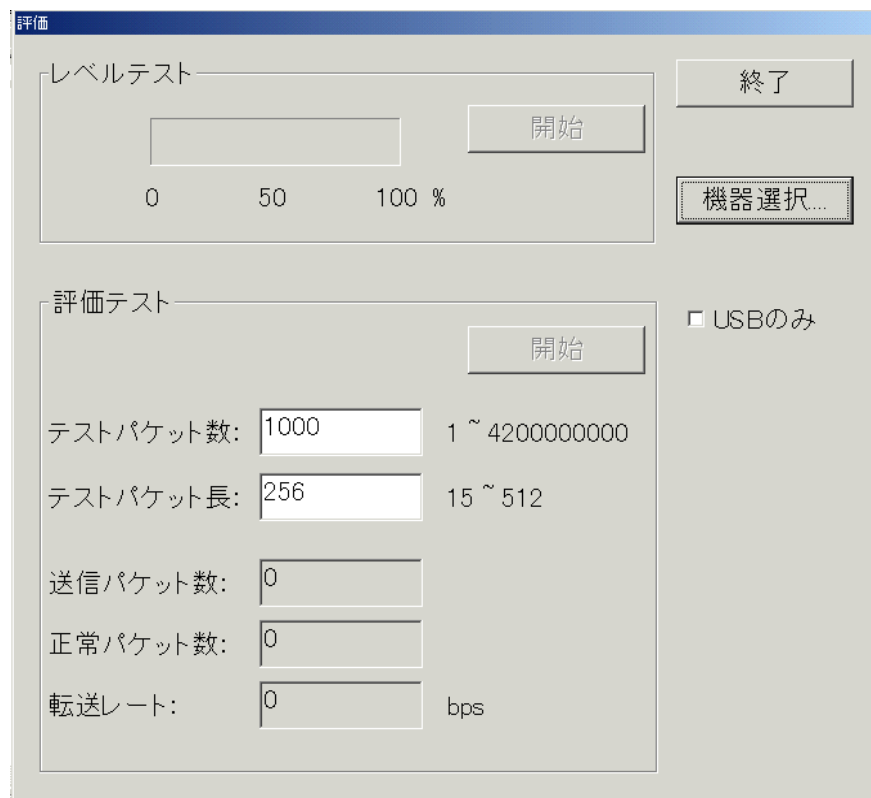
本ソフトウェア実行前にPC とADDO R1601 が接続されていることを確認してください。

本ソフトウェア実行中はPC とADDO R1601 間のケーブルを絶対に抜き差ししないでください。

PC とADDO R1601 間のケーブルを抜き差しする場合は必ず本ソフトウェアを終了させてから行ってください。

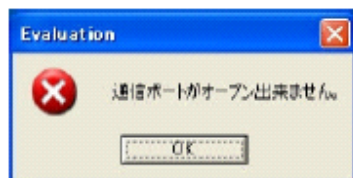
- 1) 「Evaluation.exe」を実行すると「評価」画面が出現します。

評価

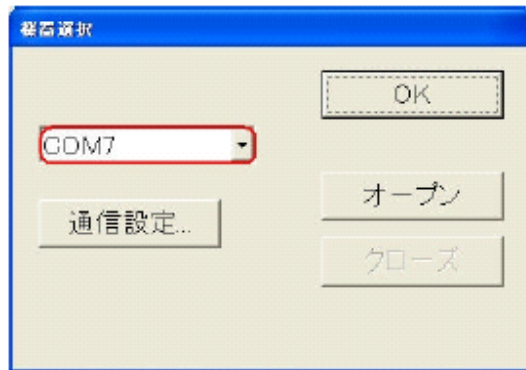


注意: 本ソフトウェアは前回使用した状態を覚えるように設計されております。

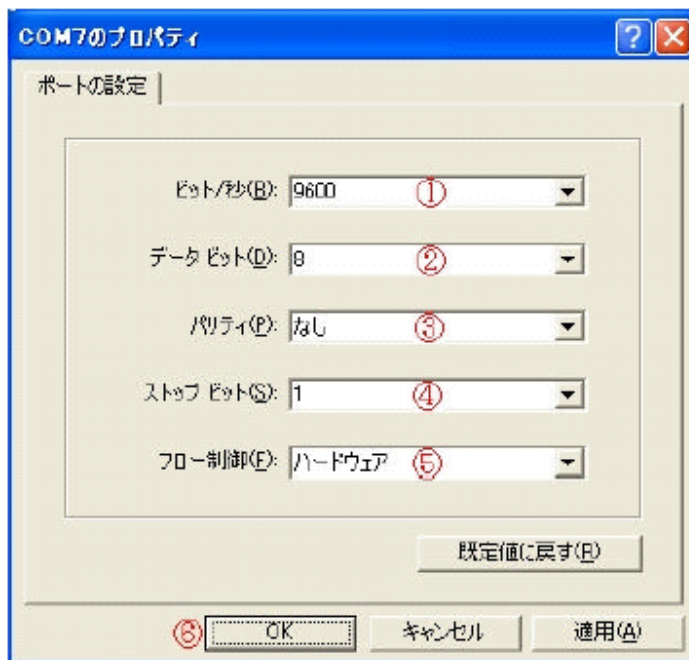
「評価」画面が出現せず、下記画面が出現した場合は、「OK」を選択してください。



- 2) 「機器選択」ボタンを選択すると「評価」画面が出現しますので、使用できるCOMを指定します。
機器選択



- 3) 「通信設定」ボタンを選択すると「COMのプロパティ」画面が出現します。
COM のプロパティ

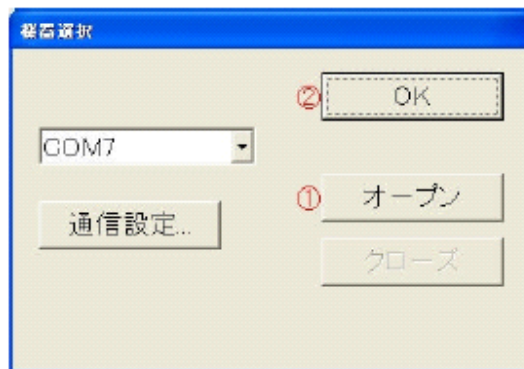


- ADDO R1601 に設定済の現在のボーレートを指定します。
ADDO R1601 に設定済の現在のデータビット長を指定します。
ADDO R1601 に設定済の現在のパリティを指定します。
ADDO R1601 に設定済のストップビット(1)を指定します。
ADDO R1601 に設定済のフロー制御(ハードウェア)を指定します。
「COM のプロパティ」の設定を完了します。

ADDO R1601通信設定初期値(RS-232C)

接続方法	RS232C	データビット長	8 bit
同期方式	歩調同期	ストップビット	1 bit
接続手順	無手順	パリティビット	なし
ボーレート	9600 bps	フロー制御	ハードウェア

- 4) 「機器選択」画面に移行します。
機器選択



ADDO R1601 を対向テスト可能状態にします
「機器選択」の設定を完了します

対向テスト可能状態のADDO R1601 を対向テスト不可状態にするには「クローズ」ボタンを選択します。

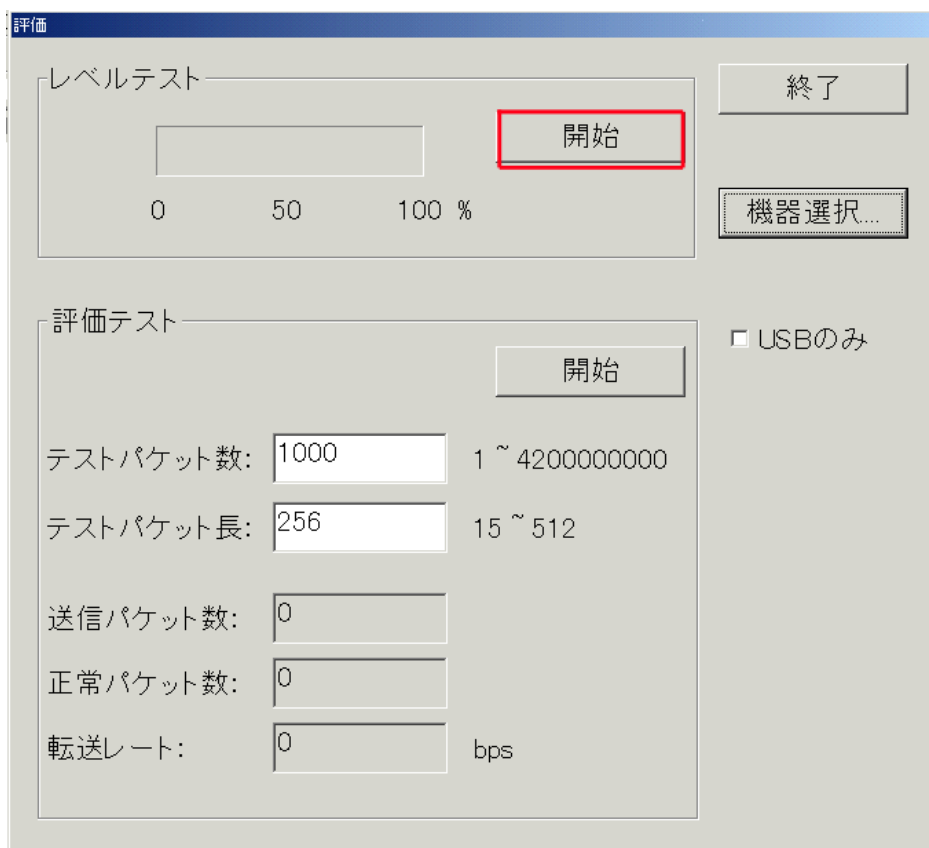
3.2 レベルテスト操作手順

この章の操作は一方のADDO R1601 についての操作を行います。

未だ「3.1 共通操作手順」を行っていない場合は「3.1 共通操作手順」の内容に従い進めてから本章の操作を行ってください。

- 1) 良い通信条件でのレベルを取得するために、2台のADDO R1601を近づけた状態で「開始」ボタンを選択し、しばらく動作させます。(この時のレベルデータは保持されます。)

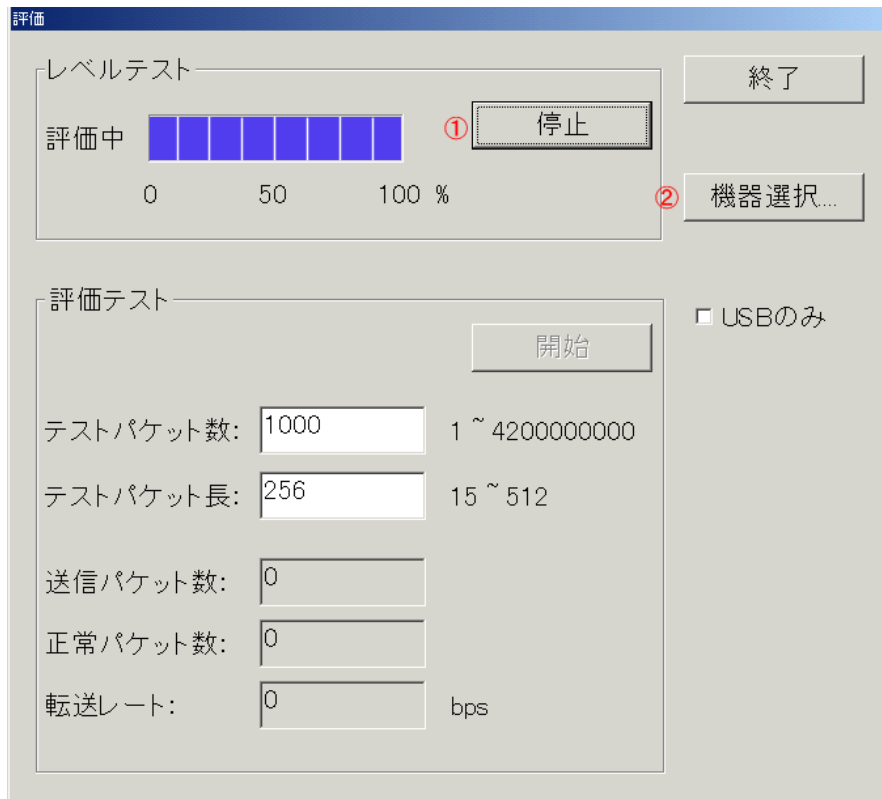
評価



- 2) 次に2 台のADDO R1601 の距離を変え、バーの表示にてレベル測定を行います。
バーの長さは通信状況を表します。100%時をエラー発生無しとし、エラー発生の度合いを表しています。
(バーの長さはあくまでの目安ですので100%の状態でご使用下さい。)

注意: レベル表示の更新は2 秒間隔で行いますので、頻繁に距離を変更しないでください。

評価



レベルテストを中断する場合は「停止」ボタンを選択します
 保持したレベルデータを初期化する場合は、「機器選択」ボタンを選択します。

3.3 評価テスト操作手順

この章の操作は一方のADDO R1601 についての操作を行います。

未だ「3.1 共通操作手順」を行っていない場合は「3.1 共通操作手順」の内容に従い進めてから本章の操作を行ってください。

評価テストでは「テストパケット長」で指定した長さのパケットを「テストパケット数」で指定した回数通信を行います。その時の状況を「送信パケット数」、「正常パケット数」、「転送レート」で表示します。

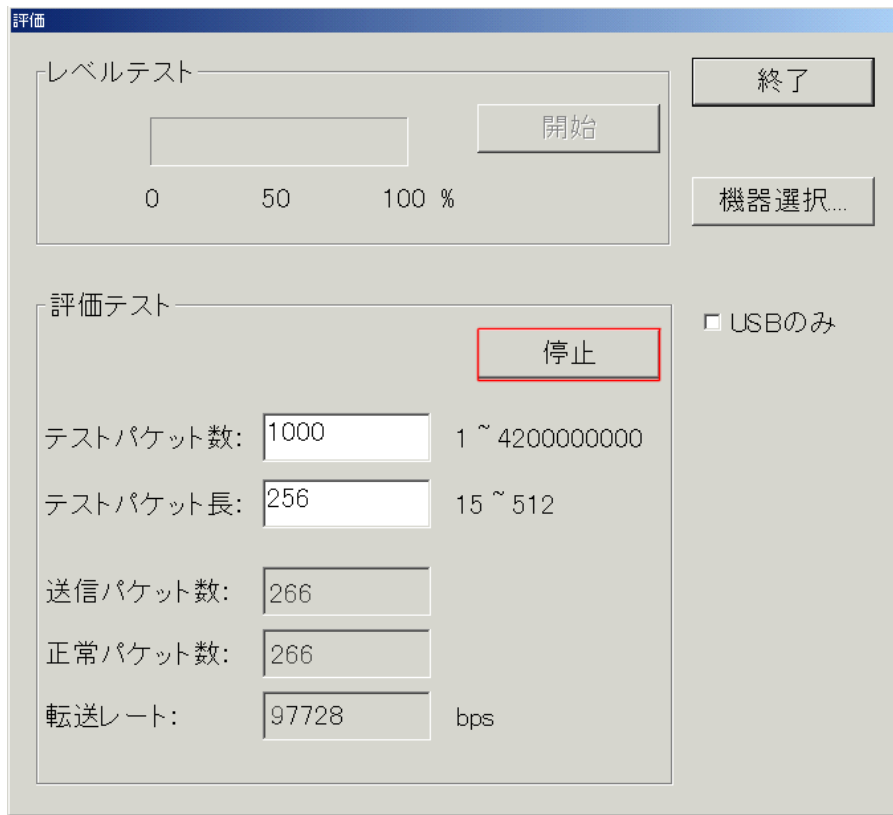
- 1) 評価条件を入力し、評価テストを開始します。

評価

The screenshot shows the 'Evaluation' (評価) window. It features a 'Level Test' (レベルテスト) section with a progress bar and a 'Start' (開始) button. Below it is the 'Evaluation Test' (評価テスト) section, which includes a 'Start' (開始) button and several input fields: 'Test Packet Count' (テストパケット数) set to 1000, 'Test Packet Length' (テストパケット長) set to 256, 'Transmitted Packet Count' (送信パケット数) set to 0, 'Normal Packet Count' (正常パケット数) set to 0, and 'Transfer Rate' (転送レート) set to 0 bps. On the right side, there are buttons for 'End' (終了), 'Device Selection' (機器選択...), and a checkbox for 'USBのみ'.

- テストするパケット数を入力します
- テストするパケット長を入力します
- 評価テストを開始します

評価



評価テストを中断する場合は、「停止」ボタンを選択します。

3.4 対向テストの終了

- 1) 全ての対向テストを終了するには「評価」画面で「終了」ボタンを選択します。

A

アド・ジャパン株式会社

本 社: 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町8 - 6
新江戸橋ビル4F
TEL: 03-5652-1715 FAX: 03-3660-5650

営業所: 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4 - 4 - 64
新大阪千代田ビル8F
TEL: 06-6391-9303 FAX: 06-6391-9304
URL: <http://www.ADDO-Japan.com>